

問題 09 動画パーティと社会的つながり <step2>

ニコニコ・パーティーに参加してできるような好縁は、「生きる意味」を育むような中間集団（社会的つながり）を創造するという考え方があります。あなたはこの考え方に反対です。それを主張する文章を、次の条件にしたがって書きなさい。

私は中学校の時代に「JAY」という台湾の歌手の大ファンだった。当時中国の「QQ」という SNS アプリが流行していたおかげ陰で、色々な地域に、私と同じ「JAY」のことが好きな、色々な地域の人たちと知り合った。そしてお互いに対面【オフ会を開くこと】することを決めた。ある日時々にを約束してカラオケに集まり、~~で~~みんなでと歌を歌ったり「JAY」のことばかり話したりしていた。本当に楽しかったが、やはりパーティーが終了すると、後でみんなそれぞれの生活に戻った。【→それからはめったに会うこともない。】

このように パーティがいくら楽しいものであっても、「JAY」のことがないと共通に話し合える話題がもなくなった。だから、このタイプの好縁は生きる意味を育むつながりをもたらさない。(王)

私が大学のとき、友達がとても少なかったので、一度は自分の交友圏を広げようとしたことがありました。身近な同級生とはそこそこの付き合いをしていましたが、より多くの人と知り合うためにをしているために、学校活動や部活の活動に積極的に参加するように努力しました。確かにこれらの活動によって今まで以上に交友圏は拡大したが、知~~っている人もいますが最終的には結局みんなは~~学校で挨拶をしただけの薄い関係になったしまったにすぎません。

このように、多くの人と友達になれるはずだというのは思い込みであり、思っているのはじぶんの人間関係を作っていることは今考えてみれば全く間違っていました。こんな「好縁」というのは実は自分にとって深い意味がないと思います。だから、このタイプの好縁は生きる意味を育む繋がりをもたらさない。(宋)

ニコニコパーティーに類似したイベントに参加したことがある。高校生とき、毎日オンラインゲームをした。そして、多くのネットフレンドを作り、オフ会も参加した。オフ会では、みんなが食事をしながら、ゲームのみについて、話をした。

このように、オフ会は確かに楽しかったと言えるが、ゲームの仮想世界のみを話すことは意味があまりないと考えられる。ゲームで生じた好縁は一緒に現実世界を避け、仮想世界を耽るように、生まれた。毎日仮想世界を耽け、現実世界に戻れなかったら、「生きる意味」がなくなるだろう。だから、このタイプの好縁は生きる意味を育むつながりをもたらさない。(楊)

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字